

地産地消アンケート自由記述欄

1 藤沢ブランドの創出

(1) 一次製品の創出

・コロナで一番感じたことは日本は輸入に頼ってきて自国で自給自足出来ない(しない)という恐ろしい状況を経験した。人間が生きていく上で一番大切な食料事情が疎かにされている。現況は直していかなければならないと思う。地産地消を拡大すれば日本は大丈夫だと思う。蛇足ですが他の分野も言えることだと思います。

・綾瀬市のように畜産にも注力し、ブランド豚などがあつたらいいと思う。もっと藤沢市で作った野菜、果物が手軽に身近に手に入ると助かる。

・藤沢の農業・水産業はここが優れている、ここが面白い等、多くの人々に覚えてもらう。一般のテレビ局やNHKで取り上げられるような作物を作る。なんでも藤沢〇〇、湘南〇〇と名称して親しんでもらう。

・藤沢産といえば〇〇というようなすぐ思いつく食品のブランド化。

・鎌倉野菜のように藤沢産の野菜や果実、食品がブランドのようになるといいと思う。

・ブランド力を高める。

・藤沢市には名物となるメニューが無いので、地元の食材を使った名物を全国に広めると良いと思う。

(2) 加工品開発

・藤沢は畑も多く、新鮮な野菜がたくさんあるので無駄なくおいしい農水産物をいろいろな形で加工して地域からほかの県まで浸透していくことを期待している。応援している。

・藤沢産の農産物を使って、オリジナルな商品(お菓子・飲料・パン・フルーツ等)の開発イベントなどで販売する。

(3) 産地競争力強化

・とてもおいしい野菜を作っている農家がいる一方でとても売り物になるとは思えない野菜を出荷している農家もいる。おいしいと思ったのはトマト、サニーレタスだった。一方で枝豆は今まで食べた事ないほどおいしくなくてしかも実が半分ほどしか入っていなかった。藤沢産だからと思ってあまり吟味もせず買ってしまった。裏切られた気がしてしまう。もう少しプロ意識を高めたほうがいい農家もいる。おいしい野菜を作る農家さんの足を引っばらなければいいが。

・生産者も地産として他所に負けない品物を生産することが必須。

- ・地元の農産物は信頼できると信じて積極的に購入していますが、たまに残念なものもあるのでチェックをたまにしてほしい。
- ・野菜、果物は藤沢地産販売店で信頼して良く購入しているが時より品が悪い品物が入っている時がある。高額の向上。
- ・ミニトマトは生産者の努力により一定の評価が得られるようになってきたが、ほかの産物は生産者の質の向上面でバラツキがあり広がりができていない。

2 給食供給強化

(1) 給食における藤沢産農水産物の利用促進

- ・学校給食で地産地消を積極的に利用し子供たちにも勉強する機会を与えたら良いと思う。スーパー等での地産地消売り場の商品は決して安くはないという印象。

3 普及啓発

(1) イベント・講座の開催

- ・身近で常に地産地消のキャンペーンがあるといいと思う。
- ・地元の生産者の交流地域の活性。
- ・駅前で（ビックカメラのあたり）よく行われているイベント等でふじさわのおいしいものや花などの販売を月1回などに増やすのもいいかと思う。
- ・11月6日に地産地消イベントの回覧が来た。藤沢産 オーガニック マルシェ。11/23 10:00~15:00 神台公園。楽しみにして有機野菜を買いに伺う。
- ・地産地消の料理教室に参加したことがありよかった。
- ・ふじキュンに会えるイベントもやってほしい。
- ・駅改札前ホールなどでのイベントみたいなことをしてみたらみんなにも知ってもらいたい機会になると思う。
- ・生産者と消費者を結びつける事業を積極的にやってほしい。収穫体験とか生産現場での体験。親子体験などが良いと思う。
- ・朝市等で農家の人と身近に話したい。子供には‘まき割‘を催してほしい漁師の皆様には魚のつかみ取り等（あじ）。
- ・地域イベントに組み込んでみる。
- ・藤沢市は本当に野菜がおいしいので安く買えるようにいろいろなところで無人販売でもいいのでイベントをしてほしい。

(2) 食育・健康施策との連携

- ・小学校でも畑見学をして、そのあとその畑のものを食べられ、より生産者と近

く関われる。子にも食への関心が高まりよいと思う。

- ・働いている人が多いとどうしても直売所など行く暇がないので駅近くのスーパーに「地産地消」コーナーがあれば利用すると思う。子供たちにも「これは藤沢でとれたものよ」と言いながら食事したいと思うので（給食ではよく聞からしい）もっと私にとって身近な所で売ってほしい。（イトーヨーカ堂、ダイエー、プライスなど）

- ・現在は何でも出来た料理が販売されているが、子供たちに農業体験を通して食材をおいしく食べる経験をさせられたら興味を持ってもらえると思う。

- ・子供の通う保育園でも地域の農家へ収穫体験をすることがあるので自分でももっと学んでみたいと思った。

- ・病院（市民）、葬場などの食材を決める時、藤沢産使用を条件としたらどうか。

- ・今社会で勉強している。

- ・近年の病名の1/2はガンと言われている（くすり、水道農薬）

- ・市は市で、県は県でそして日本は日本で、と広い意味で地産地消の問題をとらえ輸出入や食料自給率について考えるきっかけが町中や学校や職場にあると素晴らしいなと思う。

- ・地産地消の取り組みの背景には身土不二の考えがあると承知しているが現状における地産地消の取り組みの推進のための地域単位として食育やフードマイレージを考慮しても市町村域内では少々狭小なように思う。小田原など西湘の柑橘（湘南ゴールドなど）、平塚などの米（はるみなど）寒川の花弁（スイートピーなど）藤沢の野菜、果樹、やまゆり牛やまゆりポーク程度の湘南地域として連携した取り組みを推進する方や発信力があるように思う。農業の多面的機能をより重視すべき。

（3）若い世代への普及啓発

- ・正直価格メリットは感じたことはない。それ以外で買いたくなる取り組みが必要だと思う。ほかで購入しにくいハーブ等を作りそれを藤沢の名店と言われるところに納入、そのビジネスを地元高校生が手掛けるとか注目されるような新しいことが必要。

- ・もっとアイキャッチ的な工夫をするとよいのでは。例えばポップな雰囲気な「簡単レシピ」を添えるなどすると、若年層のお母さんたちも手に取りやすくまた便利に感じてくれると思う。

- ・私自身は食卓に出されたものを食べるからあまり気にしていなかったが、生産者さんから宅配で届く（手をつなぐ会）野菜はおいしい。トマトが好きだが、スーパーで買ったものはすぐわかる。まずい。近隣に直売所があるからそういうところもなるべく買えるといいとは思いますが土日以外昼間は買えないと母が言うか

らスーパーやコンビニで地元の野菜があるといいと思う。このアンケートはあまり（ほとんど）藤沢産という地産地消を意識していなかった私が家族とそのことを話すきっかけになって藤沢産を意識できたので、アンケートは若い人を狙って出すのもいいかもしれないと思った。

- ・直売所はとても良いと思うが、20代、30代というか私は個人的に常連さんじゃないと買いづらいと思った。JAが近くにあり毎週直売しているが、寄りづらい。（身内感というか）もっとだれでも気軽に買えるような場所とかだと買いやすいと思う。井出農園さんの無人販売はとても便利でスーパーより安く味がよく買っている。そういうところが増えたら買いやすい。スーパーに置いてあっても他が安いとそれを買ってしまう。B級品とかでいいので安いと買う。（味は同じなので）

（４）藤沢産農水産物の表示

- ・いつもスーパーで買い物をしていますが、「藤沢産」のロゴマークは全く見たことがない。購入する判断は国産/外国産、〇〇県産、よく知られているメーカーかどうか。また価格が一番の購入条件になる。「地産地消」には賛成だが、進め方、PRが不十分に思う。

- ・いつも使っているスーパーやコンビニにプライスのところに藤沢産と表記してあったら手に取りやすいと思う。

- ・野菜などもビニール袋に入れるならシールが貼ってあると分かりやすく手にすると思う。

- ・惣菜のパックにも藤沢産のものを使用とシールをつけられると分かりやすく選びやすいと思う。

- ・農水産物をイラスト又は写真で見せていただくとさらに関心を持つようになると思う。

- ・分かりやすい見やすい表示をもっとポップも加えたり食べ方なども大きな文字わかりやすく。

- ・昨年、横浜のそごうデパートの地下でたまたま地産（藤沢）の野菜を買って帰ったことがある。ただ、そのコーナーは特に「藤沢産」というアピールもなく、本当に‘たまたま’手にした野菜だった。

- ・明るい湘南のイメージを持たせることも必要かな、と思う。例えば江ノ電や新江ノ島水族館のお土産用のお菓子のパックには、かわいい物がたくさんある。そのようなコーナーも併設すると、「ついでに」と、つい手が伸びるもの。地産の商品そのもののパックも明るく、かわいい物にはつい手が伸びると思う。

- ・家の近くに「オーケー」「ヨーカドー」「農協」があるが藤沢産のマークを見たこともない。

- 産地表示を大々的にしてほしい。
- スーパーなどの特設コーナーなどでもっと分かりやすく地産地消についてパネルなどで紹介してほしい。
- 藤沢駅周辺の八百屋さんで購入しているが、表示がないように思う。‘藤沢産’と明記して広めてほしい。地元のもを購入したい。
- ロゴマークは知らなかった。もっと積極的に使ってほしい。
- 「藤沢産」ロゴマークをスーパーではあまり見かけないが。
- スーパーなどで藤沢産であることが分かりやすく表示されていれば購入しやすい。
- ①野菜、果物等「湘南産」の表示が多く藤沢産かどうか不明。②藤沢産の表示を梱包などで大きくしPRしてほしい。(マスコット/ふじキュンでもOK)
- スーパー等に行っても地産と分かる表示があまりない様に思う。もっと積極的に表示したら良いのでは。
- 単身世帯なので買ってでも使い切れない。弁当など完成品としての購入が多くなる。など地産地消の取り組みは理解応援していますがなかなか日常的に買うには至らない。加工品としての利用とそのPR パッケージに大書き表示など売っている現場で目立っていれば買うと思う。

4 付加価値向上

(1) 安全・安心

- 安心、安全のものを提供してほしい。
- 長年、①安心安全であることと②自給率を高めることにこだわって生きてきた。もう一つの柱である③地産地消については藤沢産ではあまり望めないと思ってきたが最近になって行政も含めて推奨する動きが出てきたことを喜ばしく思っている。かつては本のごく一部の生産者が苦勞して無農薬・無添加に取り組んで来たようだが、今後は安全安心という観点からもぜひ行政のバックアップ体制を整えて、食に関する(私が思う)3本柱が前進することを願っている。特に生鮮食品については広域の生協から藤沢産へ乗り換えられたら最高だ！！ごみ収集でも先駆的な藤沢市だから絶対できる！！
- 地元ではやはり安心安全となる。盛り上げましょう。応援しますヨ！！健康です。
- 無農薬、オーガニックのものにこだわりがある。住居の近くにも畑があるが農薬の散布状況を見ているとかなり散布していて、あまり藤沢産を好んで購入しようとは思わない。オーガニック・無農薬に特化した農産物の販売等を推進してほしい。
- 地産地消+無農薬等安心安全に考慮した食品の提供に心がけていただきたい。

- 生産者は農薬をあまり使用せず低農薬で消費者に売ってほしい。
- JA の方で新しい改良された薬の指導を農家(生産者)にしてほしい。
- 農薬の強くついている野菜を見ると「大丈夫かなー？」と求めたいけど躊躇してしまう。
- 古い農薬を使用する場合も農家ではある(自分農家出身)
- 農家ではまとめてたくさん買う傾向あります。
- 改良された低農薬指導をお願いします。農薬を使用しないで理想かな。
- 老人病人世帯ですので食品の安全安心に気を使う。生活圏で安心できる食材が供給できるよう願う。
- 農薬を使わない野菜をこれからも作ってほしい。
- 野菜類は「わいわい」で購入している。心掛けているのは新鮮なものを購入するなどしている。農家と消費者を直結した売所を増やしてほしい。無農薬、有機栽培を推進していると思うが、積極的に進めてほしい。市がもっと先頭に立って、地元産の販売に協力する様にしてほしい。生ゴミを出さない体制作りを構築すべし。
- できれば無農薬・低農薬を地の物で購入したいが、物価高でなかなか購入する気にはなれない。「藤沢産」の商品をアピールをすることも大事だが、コスト面で「お得」と思ってもらえるような努力が必要だと思う。
- 無農薬の野菜等作った方の名前が出てスーパーに色々置いてあると安心して買うことができるし、作った方も売れますと嬉しいと思う。できるだけ色々添加物の無い製品が置いてあると嬉しい。
- 無農薬、減農薬(せめて)のものが欲しい。子供が育つ頃はずいぶんと気を使っていたが独居になりそれほどではないが今までの習慣でつい探して買っている。学校や公共のところでぜひ気を使ってほしい。
- 見栄えの商品でなく有機農産物あるいは減農薬などの表示をしてほしい。いくら地産地消といっても農薬たっぷり使用はお断り。特徴を出してほしい。
- 市民が安心して食べられる地産地消を目指して頂くと私たちはとても嬉しいと共に、家族と共に食事を楽しんでもらえると思っている。生産者のみなさん応援している。
- 人生 100 年時代、私共 70 歳の夫婦。安全・安心、旬の食材が大切なので、今後もっと身近に「地産地消」が広まることを望む。
- 有機肥料作り
- 植物＝太陽（光）+炭酸ガス OK。
- 近くの農家できゅうり、大根その他の品物を買いますが安く安心。
- 「地産地消」だけでなく食の安全性も進めて頂きたい。「無農薬栽培」であることがとても重要だと思う。

(2) 新鮮な農水産物の提供

- 六会にあるわいわい市にはよく行き藤沢産の新鮮な野菜などを購入している。
- 安くて新鮮で買いやすいとどんどん購入する。
- 形の悪い野菜でも新鮮な品だったら店頭で並べて販売してほしい。(農家さんではB級品以下と言われる品が多く破棄されているのではないかと)
- 新鮮で安値なものを食したい。経済的にも魚に関してはわが地域に地産のものが入りづらい。野菜には恵まれていてうれしい。健康のためには安全なものを口にしたいので直売所が増えてきているので助かる。
- 駅の近いところに住んでいるため新鮮な食べ物が手に入り助かっている。
- 地元でとれた新鮮な食材を意識して購入したい。食料品はできれば市内で取れたり、生産、加工したものを積極的に摂取したいと考えている。
- 何かセールスポイントなのかが分かりづらいので特に藤沢産でなくても思ってしまう。例えば朝取り野菜とか無農薬とかわざわざ選びたい要素を考える。
- 野菜、魚などは新鮮な品を希望する。
- 地産は鮮度がいい、おかげ様でわが家では、近くに出してくださるので助かっている。夏野菜は本当にそのままかじっている。
- 家の近くには、野菜の無人販売所が(くだものも)数か所ありますので新鮮で安心して美味しくいただいている。生産者様に感謝している。牧場もあり、近藤牛乳さんに納入されているので近藤牛乳さんのファンだ。
- 米ディハウス(鵜沼)が近くなので、藤沢産をよく買っている。農家さんの直の野菜は形は悪いのがあったとしても新鮮で安いのでありがたい。大掛かりなことをしてコストがかかってしまうことがないよう商品をアピールして欲しい。畑を手伝うとか親子向けイベントとかあってもいいかもしれない。
- スーパーに野菜は置かれていることが多いが水産物は難しいのか大手デパートでたまに見かける程度であり新鮮な魚をいただきたい。
- 2年前に藤沢に転居し、生産、直売所が多く、とても新鮮で美味しいものが手に入り楽しんでいる。それを目当てにウォーキングをしている。
- 折角、丹精を込めて作った野菜を規格外だとして処分してしまうのはもったいない。曲がったキュウリやキズがついた野菜などもスーパーの一角にでも”訳あり”製品として提供して欲しい。新鮮さがありがたいので、考えてみては・・・と思う。

(3) 情報発信

- やはり宣伝をしてほしい。知れば買うようになる。

・水産関係の「しらす」はブランド化されたが一般の魚関係の知名度が低いのでPRが必要では。(片瀬漁港の売場のPR)〃

・家庭菜園に興味がある。色々な情報の入手等。

・市役所が積極的に広報すること又、買い物ができるよう活動する。売り場を増やす。

・地元に住んでいてもわからないことが多いです。いろんな取り組みをしても目にすることが少ないので情報の充実、広報等もっと普段から目にする機会を増やしてほしい。

・旬の食べ物がおいしいのを知っている人をどんどん増やしていけたらよい。

・多くの人に知らせてもっともっと告知をしてほしい。食する場を広めて知ってもらえるようにしてはどうか？

・藤沢に引っ越してきて、1年になる。もっと地産地消について知る機会が増えたらよいなと思った。

・スーパーに藤沢(神奈川)産のコーナーがあればいつも見ておいしそうなのは買っている。他エリアよりお得で新鮮に見える。何が旬でおいしいかもっと教えてもらえるといいなと思う。

・藤沢市民病院に入院した際地元のパン屋のパンが出て、目がとまった。なにげない食事の時など気を付けるようにピーアールしてもらえると意識が高まると思う。

・以前住んでいた市は農業が盛んだっせいか近くの農家の軒先で無人販売所等が多く新鮮で安い又季節の野菜が手に入ったが、藤沢に来たらそういった所が少ないので地域のものが手に入りにくい。わいわい市場(農協の)や梨やブドウの直売所等にもよく行くが価格がとても高い(特に果物)ような気がする。又B級品等も安く売ってくれたら助かる。海が近い割には魚貝類で地域のものがほとんど手に入らない。どこで売っているのか？情報が欲しい。

・野菜などの直販所は数か所知っている。一方、魚介など直販所はあるのか？場所を教えてほしい。また市内の漁港(鎌倉や茅ヶ崎も含め)販路にのらないようが魚の販売もしてほしい。

・現時点では中国産を避けるようにしていたが、今後は藤沢産を気にして消費しようと思う。しかしながら、藤沢に在住してまだ5年程の私は藤沢の農水産物が何であるのかが分かっていない。その点広く告知して頂けると良いかと思う。

・「広報ふじさわ」を月に2度も発行しているのだから、この媒体を活用して旬の野菜・果物等の収穫について絵図で知らせてくれるとかの方法も考慮してほしい。

・新しい野菜(めずらしい商品)など料理方法など載せていただくと出荷量が多くなるのではないか。

- ・高齢者に対するPRをもっと積極的に取り組んでほしい。
 - ・まずはどこへ行けば購入できるのかを教えてください。
 - ・藤沢北部の野菜を食べてみたいけど売っている場所がわからない。梨やブドウもあるそうですが見たことがない。食べてみたいと思う。
 - ・藤沢市の広報に地産地消の記事の掲載が少ないと思う。市民が喜んで藤沢産を使用するようになってほしい。
 - ・地産地消についてもっと知りたいと思った。スーパーでは価格を重視していたので、旬の食材や野菜など、藤沢市のことを考えた買い物を意識していけたらいいなと思った。
 - ・なぜ地産地消をすすめたいのか、藤沢市の意図を知りたいと思った。市にとって、市民にとってどんな良いことがあるのか？多分多くはそのことを知らない。
 - ・町の中心に販売所を表示（地図）等を。
 - ・（シラスなどの魚介類）江の島漁港、（畜産豚）市北部地区、近藤牛乳ぐらいしか知らない。
 - ・地域の産物を広めるためには価格が重要。どうしても安いもの、より多いものを選ばれる。地産地消のメリットとより明確に強くアピールする必要がある。
 - ・地産地消について、消費したくてもどこでどの様なものが生産されているのか、私の外から出ないこともあってか藤沢市のロゴもあまり目につかないPRが不足しているのではないかと。もっと市民にアピールするような宣伝方法を考えてほしい。
 - ・もっと情報の多様性がほしい。農水関係の情報が全く私には届いていない。JCOMで時々情報を拝見しますが情報の伝え方が低層で信頼できない。
 - ・福祉施設への供給をPRする。
 - ・広報で「旬」の情報、食材情報を伝える。
 - ・来年で90才を迎える高齢者。車を早く手離し不便を感じているが、世間様に迷惑のかかる自動車事故が多いことを思うと早めの免許証返済を良かったと思っている。
- （近くの老人達車で遠方迄出掛け、地産物等を教えてくれるが私は反対の近場で意見申しているが・・・）その為にも私は「広報ふじさわ」の一角に地産地消の欄を作ってほしい。
- ・(22)での回答の通り、あまり‘藤沢産’であることにはこだわりがなく、一方で‘国産’であるかどうかはほぼ毎度チェックしています。
- (23)のメリットの中に「生産者が身近で安心安全」とありますが、これだけITやふるさと納税などもそうですが物流の通りがいい(ものも情報もいつでもどこでも、の時代の中で)‘住んでいる地域が近い’‘身近’という感覚が(私個人的には)あまりないが故に「国内で作られたものであれば食料自給率なども日本

国全としては下がらなず、それでいいのでは？」というように考えているのかなー・・・と私自身の考えを振り返った。ちなみに、'藤沢産'にこだわりはないが、「鎌倉野菜」と聞くと食指が動く・・・。積極的なPRと、ブランド化などが定着するとより幅広い人が地元産のものを手に取りやすいかな、と考える。

・今藤沢は、人が増え食材も多様化している。地産地消により運送、時間、コスト等の良い面がある。作り手と、選び手(消費者)がイキイキと活動できるような施策や仕組みができるよう私たちも一歩一歩行動している。実際には農業の学びと買い物時の作り手情報の把握。

・野菜果物等は新鮮さが一番大事なのでぜひ藤沢市として宣伝してほしい。

・野菜、果物の情報はある程度あるが、その他の品目の知識がなく、どこで何を販売しているのか知らない。市民に対して公報活動がまだ少ないと思う。

・まず一般の消費者は地産の品に何があるのか充な知識がない。市の広報を含め、もっと情報を発信すべき。

・直売所がどこにあるか知らない。

・藤沢は魚介以外の農水産物の印象が薄かったので、改めて知るきっかけになった。今後も産物や旬の情報をPRしてほしい。

・JCOMでも藤沢で採れた野菜を使った料理番組を見たことはあるが、もっと全国区に知れ渡ればいだろうしご当地メニュー等で盛り上げることも地域活性化につながると思う。また国産レモンの人気は今も続いているので湘南レモンや湘南柑橘等が出たらとても人気が出るのではないかと思う。

・南には海、北には畑とテレビで紹介されているのをきいて、これほどいいところはないと思った。なので、たくさんアピールしていただいてもっともっと身近なものになるといいなと思う。

・私は旬や食べ方など(主婦歴も短く)あまりわからないので同じものばかりになりやすいので、色んな食べ物にチャレンジできるように情報も教えていただけると嬉しい。小さい子供もいるので、食育にもなると思う。

・本鵜沼に住んでいますが地産の物をもっとくアピールしてほしい。とくに漁業など。何で片瀬漁港の朝市の販売がないか？地元の港の魚をなぜ販売しないのか。とても不安な片瀬漁港の港と思うが！！

・南部エリアに直売所がないためもっとエリアを拡大してほしい。藤沢産がどこに置いてるのか分からない。もっとアピールしてほしい。気づかない

・ホームページの充実をお願いしたい。

・藤沢市の農水産物のPR活動をやっていることを知らなかった。又藤沢産のロゴマークも知らなかった。市民に分かる様に農水産課仕事を真面目にやれ。

・まだ藤沢市へ引越して二ヶ月しか経っていないが、「藤沢産」があることを知らなかった。「ふじさわ」の地域の情報冊子はよくポストに入っていますので

気になってみている。食のことにしてもたくさん地域の方にまずは知ってもらえるよう藤沢市観光公式ホームページの‘藤沢産を味わう‘をポストなどに入れたら良いかと思う。

- ・定期的なアンケートが必要。コロナの中食材の調理方法。男性にもできるもの。
- ・藤沢産というとトマト、湘南しらすがイメージされるが、ほかにもぶどう、魚貝類（ハマグリ、イナダ）もあると思う。藤沢産ロゴマークもあまり知らない。もっとアピールし認知度をあげてほしい。

- ・地産地消に協力したいが、藤沢産のものは値段が高いイメージがある。名店ビルの八百屋さんでよく野菜を購入するが、値段と鮮度で選んでしまい他県産に手が伸びてしまう。B級品を安く売ってくれる販売所があれば知りたい。

- ・一番問題なのが！もっと身近な情報が必要。①どこでどのように売られているのか②いつ売するのか③何を売するのか。全く見えていない現状。ふじさわ広報の1面を使っていつどこでなにを売るか掲載したら。

- ・これからも藤沢産をもっとアピールして拡大を旨としてほしい。今後も応援している。

- ・藤沢産農水産物のアピールする場を多く。また地産地消を積極的に推進することが大事だと思う。

- ・販売基地の案内と増設があると良い。
- ・酒類等（農水産物を原料とした）の情報。
- ・ラジオ、TV等で積極的なアピール。
- ・もっと宣伝してほしい。

- ・農業に関してはJA直売所などがあり感心が持てているが漁業に関しては知るところが少なく漁港でどんなイベントがあるのかまるで知らない。

- ・町内会の案内ボードに直売所を示していただけたら便利だと思う。地産地消しやすいもの代表品目等覚えやすいと助かる。藤沢の野菜、近海魚おいしい。お米はよくわからない地元のものが。トマトは内田さんのトマトジュースが美味しくてびっくりした。

- ・以前カキやブドウを市、県内で買いとてもおいしかったのでまた今年も・・・と思いながら近所ではないのでうっかり時機を逃して買えないことが多い。売り出しの情報などを毎年わかるように知らせてくれるチラシや広報紙があるとありがたい。親戚にもこちらのおいしい地産物を送ることもでき、地元をもっと誇れるようになると思う。

- ・地元の野菜・魚・肉・卵を利用して作る事に楽しく思う。特に新鮮な野菜・魚など手に入ると料理が楽しく作る事に喜びを感じるし、おいしく頂ける。わかりやすく地元の野菜等買い易くしてほしい。

- ・農薬をどれだけ使用したか分かる指標があると少し高額でも買う人が増える

のではないか。

- ・より広く知られるようになると思います。

- ・単身世帯が年々増加している現状。量が多過ぎて困るという人もいる。少ない量でも単価的には高くつくから別に「地産地消」にこだわらなくてもという人もいる。できるだけ地産地消を利用したいが友人たちもそれにこだわりがなく単価が安いのを買っている現況なので大いに宣伝をしてほしい。

- ・広報ふじさわは必ず読んでいるので地産地消に関するあらゆる情報をとくにメリットと販売（時季や場所など）生産者の声などを掲載してほしい。購入したくても具体的な場所や品目などがないと難しい。JAの販売所は少なくて車がないと行けない。

- ・藤沢市はもっともっと地産地消を宣伝してほしい。知らない若い人達が沢山いるようだ。やっぱり地元でとれる野菜やお魚は美味しい。

- ・どういうメリットがあるのか発信していくこと、発信し続けていくことが大事だと思う。

- ・毎日市民に藤沢産の販売情報を出してほしい。

- ・とくに‘藤みのり’など希少な果物をもっと宣伝し、地域の特産物にとどまらず全国レベルの知名度にするよう、農業者への支援が足りない。

- ・四季を通じて市の広報で地産のものを取り上げて掲載して広報したらと思う。

- ・自分の生活の周りしか何を作っているのかわからないので、もっと具体的にどこでなにを作っているのかわかるといいと思う。

- ・もっと宣伝して身近に購入できるといい。

- ・旅行先等で、鎌倉野菜のメニューは目にしたことはあるが、藤沢野菜のメニューにはまだ出会っていない。私も鎌倉野菜を買っていた。もう少しアピールしたほうが良いかと思う。最近では市役所での水、金の野菜や水産等楽しみに買いに行っている。

- ・広報、回覧板、駅やバス停、折込チラシ等による情報提供があると便利。

（４）利用推進店の充実

- ・よく行くお店（レストラン、カフェ、パン屋さん、お弁当屋さん）で藤沢産の食材を使ったメニューがあると、食べておいしかったらスーパー等で買ってみようと思う。

- ・介護施設や子ども食堂など地域にかかわる方々が積極的に活用されるのもよいと思う。

- ・私は辻堂に住んでいる。駅のそばや近くに、お店やレストランがあるといいと思う。

- ・藤沢遠藤の‘いぶき’レストランでオープン時食べにいたことがあるけれど、

値段の割に種類が少なくあまりおいしくなかった。もう一度行って食べてみたいと思わなかったの、その後どうなったのかわからないが、もう少し魅力ある、また来たいというレストランを期待している。又大型スーパーマーケットで藤沢産の地元野菜を特別コーナーを設けて売っているが、安さは感じられない。新鮮さはいいが。

- 息子の通う小学校では藤沢ランチという日があったり、藤沢の〇〇とか湘南の〇〇などメニュー（献立表）に記載があり見ていて楽しい。毎日食べる給食に取り入れることで子供の頃から地産地消を学べていい機会だと思う。家の近所で学校給食のメニューのような総菜を販売する店や食べれる飲食店があれば地産地消にもなり、理解が広がりいいと思う。案外定食屋さんや総菜屋さんはないので。安心安全なものを手軽に安く食べられたらいい。（流通できない規格外のものを調理に使えばごみの削減にもなる。）上記のものが実現したら話題性もあるのでは。

- 家計に余裕がなくても調理された物を食べる場所（飲食店、学校食堂など）があれば無理しないで地産地消にとりくめるのではないかと思う。

（５）量販店での藤沢産コーナーの設置促進

- わいわい市場には時々行くが、このような施設をもっと増やしたらどうか？スーパーの地場を置いている店もあるか？価格が高い。

- スーパー以外で品ぞろえ豊かな小売店や商店街、直売所がもっとあるとそこで購入する。

- 藤沢産の農水産物にどんなものがあるのかよく知らない。スーパーなどで藤沢産の農水産物の物産展があるとわかりやすいかと思う。

- よく買い物をするスーパーの入口付近で地産地消の野菜を買っている。水産物についてはあまり（ほとんど）地産地消を意識するようなコーナーなどないため、買ったことはない。スーパー、コンビニなどで、地産地消が目につくようにすると買い物していて、つい足を止めるものと思う。

- 添加物にまみれたこの時代の中をよりよく生きるために、私たちは自由というものを獲得したと同時に情報に流れずに選択していかなければならない。自分の体を作ってくれる食べ物は特に気を付けていかなければいけないと思う。外国の輸入物よりも日本国内には日本人にあった食べ物がたくさんある。国産物を見直し、しっかりと日本産だけでまかなえる世の中にしたい。地産地消もその一つ。新鮮で体の中の細胞も喜んでいる。スーパーでも手軽に手にすることができたり、店舗を増やし、身近にしていけるとよい。

- key ward「地産地消」八百屋、スーパー、わいわい市どこでも地産 新鮮、安全な野菜の入手に。徒歩で毎日の買い物が終生可能。

・80代の老夫婦なので、自分の家の近くに買やすい地産地消の販売所があればいいと思う。歩いて行ける範囲内の直売所が。御所見地区にスーパーが欲しい。

・近所のスーパーにまた大手のスーパーでも藤沢産コーナーが常設されるとかなりハードルは下がると思う。地産地消の良さのPRもそのコーナー(売り場)に設置するとなおいいと思う。いくらよくてもやはり「藤みのり」と南米産の安価なブドウが並んでいたら安価なブドウに手が出ると思う。

・片瀬の方では朝市などがあり新鮮な魚貝が安価に入手できるそうだが、なかなか出かけられないので、町中のスーパーのほうが朝市で買ってその様な特設コーナーを常設してくれたら手軽に地産地消ができると思う。

・地元生産の農水産物って売ってる場所が少ない、売っていても品揃えが少ない、高い(というイメージ)がまだある。スーパーで売るとか、お店の中に地産地消コーナーを作って品揃えを増やすとか安さもアピールできる広告やキャンペーンを打つ(県外産、国外産でも安いと買ってしまう。)ともっと推進できると思う。潜在的には地元を応援したい人は多いと思う。

・藤沢産の商品(販売している場所)が近くにない。

・農家の方大変だと思うが、スーパーの藤沢コーナーをいつもチェックしてしまわずでこのような場所が増えたらいいと思う。

・最近では地域のスーパーなどで藤沢産よく見かける。鮮度がよくまず他の県の品物より先に手に取り価格納得いけば購入している。果物や鮮魚などもっと身近に感じられるとよい。

・スーパー(coopなど含む)などまだまだ藤沢産のものは限定されていて少ない。もっと日常的に欲しい。

・さといも、こぼうなど産地が遠いためかかび臭くてとても食べられなかったので敬遠して買わない(スーパーなどでビニール袋に入っているもの)。

・OK やフードウェイのスーパーにも藤沢産の野菜などをおいてほしい。

・最近のスーパーは入り口に藤沢野菜、鎌倉野菜として置いてあるので一応見るが、やはり価格は若干高い気がする。くだものはちょっと高いなあとは思いますが買っている。おいしいので。わいわい市場や広場などでお菓子や漬物など生産者さんなど応援したいと思う。

・イトーヨーカドーやいなげやに買い物に行くことが多いがあまり藤沢産の農作物を見たことがない。(魚貝類はあります)「藤沢産」と目に入れば買おうかなとふと気になると思う。直売所はいつも混んでいるイメージあるので行こうとは思わない。

・生産規模から難しいと思うが、スーパーに藤沢産の農水産物が並ぶことが少ないため、なかなか知識が身に付かない。直売所は夜やっていなかったりするため

できれば大型のスーパー等に置いてもらえると現役世代にとってより身近なものになるのではないか。アピールして売る(消費する)というよりは行った量販店(スーパー)に藤沢産の農水産物があるというほうが消費者にとって選択しやすい。

- 地元の野菜や魚や果物等を地域で消費できるなんてこんな素晴らしいことはないと思う。スーパーでも、藤沢産のコーナーがあるとわかりやすいのでは？と思う。あったらうれしいし、選んで買う。

- 身近に藤沢産の野菜を購入するところを知らない。鎌倉野菜はよくスーパーで見かけるが・・・なのでスーパーにての販売を望む。

- 最近街での販売所が減っており、ほとんど大型スーパーしか行かないので、スーパー内でもっと地産地消をアピールしてくれれば知ることができ、購入する機会が増えると思う。

- ヤオコーでは店入り口で鎌倉野菜などいつも売っている。新鮮で時々買う。藤沢産も扱ってれば購入するが…イトーヨーカドーなどでも藤沢産コーナーでもあれば気を付けて見るようにすると思うが・・・わいわい市場は遠いし、土日に行く途轍もなく混んでいるので、コロナの今は行かなくなった。

- スーパーなど買い物に行き、地元で生産されたものがわかりやすく置いてあれば購入しやすいと思う。

- 近所のコンビニで平塚市からの農産物を提供している。新鮮で値段も安くてよい。コンビニは開店時刻が速いので重宝している。コンビニに藤沢市内の農産物をどんどん置かせてもらえるようにできないのか？

- 野菜の直売所が減っている。フィルモールのワイワイ広場まで買いに行くのは大変。スーパー、コンビニで利用できるとうれしい。

- 藤沢市北部在住のため、多くの農産物を利用しているが、水産物の入手ができない。以前は江の島まで早朝に買いに行ったこともあるが、もっと身近で新鮮な魚貝類を手に入れたいと思う。六会の「わいわい」などでもっと定期的に回数を増やしたり、スーパー等での取扱い量が増えるといいと思う。大いに利用する。

- 高齢化社会ですのでスーパーやコンビニに「地産地消コーナー」を設け、多くの場所での販売体制があると良い。産地近くの直売所だけでは多くの人の対応が難しいと思う。

- 年齢も年齢なので(81歳)独身だが、{コロコロ} 転がしてスーパーへ買いに行っている。徒歩で20分近くかかりとても辛い。いつまで買い物に行けるか心配。(もっとちかくにせめて10分前後位の所にスーパーとかできたら助かるのだが)若い世代の方が多くて(新興小住宅地です)車や自転車でいける方々へき地とか車の販売とか考えていただけたらありがたいと心から思っている。

(辛くならない) 徒歩+買い物がボケ防止になると信じて頑張っている

る。両手指が‘へバーデン関節’でペンをしっかり握れませんので乱筆・乱文お許しください。

- ・藤沢品を大きな商ルート（例：大型スーパーへの売り込み）へ売り込むことが最も重要。「地産地消品」か「特殊なもの、珍しいもの」ではギリ貧化する。それにはどうしても地産であるがゆえのコストメリットが必要。「新鮮だが高い！」こんなイメージがありすぎる。

- ・ヨークマート、フジスーパーで購入、わいわい市場は遠いので年に1~2度、こんなのが近くにあったら嬉しい。とにかく新鮮で長持ちする。

- ・スーパーの一角に新鮮な野菜を置いてもらえるといいなと思う。今日の売れ残りは半額で売ってほしい。わいわい市ではませこぜで売っているように思う。

- ・小学校の給食などにも地元野菜がよく使われていてすごくいいことだと思う。スーパーでも地元野菜のコーナーがあればなるべくそちらの方から買うように心がけている。そういう場所が増えることを望んでいる。

- ・スーパーの直売所を利用することが多いので、直売所を増やしてもらえると嬉しい。

- ・最近では都内行く機会も少なかったが、地元のスーパーでは定期的に基本野菜等が売り場がないこともあり、流通面の視点やいろいろな意見を言える機会は少なくなってきた。各スーパー百貨店も商品の選別等継続的な動きをされている製品を消費者が取りやすく買いやすく様にしてほしい。まだこの数年は売り場に行けると思うのでネットも大切だが、適正な製品が配置されるように注力してほしい。

- ・スーパー等に藤沢産コーナーを作り一目で藤沢産と判るようにする。

- ・ネット社会ではあるが、新鮮・おいしいは目や口で確認できるものである。是非わいわい市場のような店舗の増設とミニ店舗の開設をお願いしたい。

- ・近くのスーパーでもより多く藤沢産の商品を置くことも大切かと思う。地産地消を応援する。

- ・各コンビニに置いてもらい、歩いて買い物ができるようにしてほしい。

- ・藤沢に住んで3年藤沢にどんな特産物があるかとかロゴマークの存在も知らず恥ずかしい限り。スーパーやコンビニなどいつも行く場所に目にする機会ができたらいいなと思った。

- ・地産地消の考えは大賛成。転勤で全国あちこち暮らしてきたので。ただ、家の周りには徒歩10分以内にスーパー5軒あるのに藤沢産の野菜コーナーがあるのは1店のみ。それもちょっと。農家直送といっても横浜市など県内他市ばかり。本当残念に思う。基本的に藤沢市というより神奈川県自体‘農産物直売所’が少ないと思う。他県に住んでいた時はイベントがある（「食」とは関係ないものでも）ごとに直売コーナーがあったり、道の駅も多くあったりあちこちで買

えた。近所で売っている地場野菜は 1 店舗のみだから午前中にはなくなっていることが多いので置いてもらえば購入したい人はいると思う。スーパーは難し・高齢により車を使用しなくなるので近所(コンビニ等)で買えると有り難い。いのか。個人的にはスーパーに置いてもらえたら嬉しい。

- ・地産地消を進めたいならもっと直売所を増やすかスーパーにも(地産)コーナーを作るなどしてほしい。今は藤沢産の農産物を買いたくても夏のトマトくらいしかない。毎年藤沢のブドウを買いたいと思うが、スーパーには出ないので残念。

- ・スーパーに直売所を作ってほしい。

- ・私がよく行くスーパー(ダイエー、プライス)には藤沢産の商品をほとんど見かけないので置いてほしい。

- ・藤沢産の農水産物についての情報を得る機会が少ないと感じる。スーパーに目立つコーナーを設置する等、手軽に購入できる機会が増えるとありがたい。

- ・主に野菜を購入している。価格、鮮度共に良い。以前よりは品数が増えたが、売り場の片隅というイメージがある。もっと地産品のアピールが必要では・・・?

- ・スーパー、コンビニでも売る。

- ・地元の野菜を扱っているお店が近くにあるが、季節によってあまり品数がないので足が遠のいてしまうが、いつも行くスーパーの一角に地元野菜のコーナーがあり、必要なものがないときは他の産地のものがあるので使いやすい。特別な場所ではなく生活圏の中で気軽に買えるのであればどんどん利用したいと思っている。

- ・家から歩いて行けるところにある個人でやっている直売所はたまに購入している。味が濃くて新鮮でおいしい。価格もスーパーと同じくらいか少し安いか高いくらい。大根は大きな葉までついていてうれしい。果物はとても熟しておいしい。車じゃないと行けないようなところだとなかなか買いに行けないけど、近くにあれば積極的に利用したい。個人の直売所等そういう小さいところからまとめて、スーパーで売ってくれたら買いやすい。ほかの地域から藤沢に引越してきた。藤沢は海のイメージが大きくて海側以外は田んぼや畑や牧場がこんなに多いとは知らなかった。藤沢にもおいしい野菜や果物や肉があるんだなと感じた。

- ・近所のスーパーには地産のものはほとんどない。

5 農水産業の維持・発展

(1) 担い手育成・確保

- ・他のものと語り高額だと思う。野菜痛みが多い。前に住んでいたところでは破棄されるようなものが平気で高い。(成長不良含む)意識が低い(生産者の)流

通させるのは難しく感じる。(価格が強気なため)

- ・生産緑地を減らさない事と農業地帯に住宅地を許可しない事。市内に穴ぼこだらけの(地図上)開発地区が多い。農業はニオイが出たりするが後から来るものは不平をいうと役所は言いなりになりすぎ。規制すべきである。

- ・空いている土地が多数見かけるから米、野菜、その他を作る方向にしてほしい。若い人たちへの希望を作ってあげたい。自給自足の社会にしてほしい。

- ・ボランティア、高齢者を活用する。
- ・後継者等の育成が必須ではないのか。

(2) 持続可能な生産環境への支援

- ・わいわい市場で売られている野菜は安いと思っている。ただ、ブランドの果物や野菜となると、スーパーで売っている同種のもの比べると非常に高額で手に取りたいと思わない。市として、一般の価格で売っても農家の方々がやっている仕組みづくりを検討いただきたい。

- ・直売所は遠くてなかなかいけない。以前藤沢産(生産者)の方のトラックが家の側に来て販売をしていた。新鮮で安く、旬の野菜を販売していて、スーパーなどでは見かけない野菜もあり、皆心待ちにして購入していた。残念ながら体調を崩されて今は来られなくなった。生産者の方から調理方法や野菜の説明も受けて人気だった。個人の生産者の方では限界があると思う。市からの補助金や共同で取り組むシステムがあれば良いと思う。また購入者も市が助成しているものであれば安心して購入できる移動直売システム。難しいこともあると思うが、店が遠い人、高齢者、新鮮な品を安く購入したい人はたくさんいると思う。

- ・遊休農地が市北部ではかなり目立つようになった。秋は「せいたかあわだちそう」の畑になってしまい近くの畑も困っていることと思う。行政によっては駆除を市民に呼び掛けている市もある。これからの放置農地を活力ある農家に、または農作業をしたい市民に貸し出してみたいか。放置農地は「持ち主」は市民にはわからないので市で調べていただいて公募してはいいか。(専業農家でも規模拡大を望んでいる方も有ると思う。)

- ・藤沢市の地産地消がさらに進んで、生産者のみなさんを市民で支えていけるようになるといい。

- ・生産者側はあの価格でよいのか。安すぎるような気がする。

- ・地産地消と言いながら、果樹園の土地を区画整理で奪うことをするのはいかなものか?部署が違う、管轄が違うと言うかもしれないが、大切にしていきたいと思うのであれば、こういうアンケートよりももっと他にやることがあるのであれば?藤沢の美味しいものを買うように心かけているが、このアンケートで何か変わるのか?疑問だ。農家を苦しめないようにしてあげてほしい。

- ・経済的理由により毎回地元の野菜は買えず安い多量に入荷している品物を買う現実だが、地産のコーナーを見ながら美味しそうだな、生産減って欲しくないなと思っている。

- ・最近どんどん畑がなくなっていくように感じる。少し前まで畑だった土地が耕作をやめてしばらくすると宅地になったりしているように感じる。地産地消を呼び掛けても肝心の地元の農地がなくなっていつかは守るものがなくなってしまう。農業と漁業を守ってほしい。

- ・物価高の今、価格は品物選びの大きなポイントになっていると考えている。特に食べ盛りの若い方なら当然と思う。市税をどのように使うのか難しいところだと思うが、生産者に補助金を出し藤沢ブランドを安価に市民を中心にアピールできると、地産地消にもつながると思う。藤沢は湘南ブランドとして注目を浴びやすいと思うのであとは販売方法と価格のように思う。生まれてから66年、藤沢市民だ。若い人にもお年寄りにも優しい市であってほしい。

- ・鵜沼在住ですが近所に八百屋や肉屋があり昔から地域住民の方々が利用しやすいと思う。地域に根ざした商店をいつまでも残していただけると助かる。

- ・私藤沢に嫁いで46年農業を手伝っているが、思うように野菜の生産ができず、いつまで自然とうまく付き合って仕事をし生活できるか心配。

6 関連施策との連携

- ・直売所を増やしてほしい。スーパーで売っていても少なく、種類も少ない。取りたてをおいしくいただきたい。

- ・市民センター等の人の集まる場所で販売してもらえば買いたい。

- ・高齢者で今年車も廃車し、買い物難民。歩いて隣のスーパーに行くのが精一杯。市役所前・市民センターなどなど足の便のいい所で直販する行事やコーナの設営、民間企業とのタイアップによる移動販売など流通ルートの工夫が必要。インターネットや広報の情報で告知することは大切だが、手に取ってみる食べてみるのが一番のコミュニケーション。正直なところ藤沢市の地産地消についてホームページや広報の情報、イベントのコーナーを覗き見た程度で口にしたのは片瀬の浜で購入したしらす程度。片瀬山に住んでいるが、家の近くの北公園に月に何度か農水産物の移動販売車が来てくれると近隣の皆様よろこぶと思うが、地産地消の輪も広がる。どこかやってくれる民間企業が必ずあると思う。

- ・農産物は市の北部で収穫されるために南部での販売店が少ないのでサンパール広場等に常設の売り場を設けたらいかがか。

- ・長後に住んでいるが、生協以外スーパーがない。品不足なので買い物はほとんど高座渋谷のイオンに行くので藤沢の農水産物はわからない。昔長後にユニーがある頃はよく見かた。また長後は道が狭く孫をベビーカーに乗せて買い物な

んで怖くて行けない。藤沢駅の周りや南部は開けている。長後は年寄りが多く買い物不便。長後駅を立て直し長後の人が集まる場所を作るべき。駅ビルにして小さいスーパーやいろんなテナント飲食まず人が集まる場所を作るべき。そこに催事所を作り藤沢市の産地生産のものをどんどん紹介していかなければ長後は廃るばかり。藤沢市長自ら長後を歩いてみていただきたい。現在高倉方面に家が多くなっている。長後支所も国道側にもう一軒建て藤沢市の産地 PR 催事場が必要となる。結論は長後は老人が多い、買い物が一番の悩み。まずスーパーがほしい長後にある OX は高くて年金生活で手が出ない。この文面を市長に見ていただきたい。

- ・藤沢市内に道の駅のようなものがあればいいと思う。
- ・販売所がもう少し近いとよい。
- ・地産地消に協力したいし、食べてみたいと思っているが、日常生活において(買い物)見かけない(商品を)為購入に至っていない。また直売所で売っていることは知っているが、わざわざ行こうと思わない。もっと身近で、買いやすく(値段も含め)なればいいと思う。
- ・藤沢産のお野菜、果物はとてもおいしいので、もっと広まるといいなと思う。わいわい市で購入することが多いが、土日はとても混んでいるのでインターネット販売や宅配があると嬉しい。
- ・直売所の増設。
- ・移動車での農産物販売(車がないので直売所まで行かれない)。
- ・定期的に駅前とかで、イベント風直売所の開催。
- ・地元のものであれば輸送の時間も価格もかからず安く買えるし、新鮮だと思うので売る場所を増やし買えるところを考えてほしい。
- ・魚に関しては片瀬の漁港の朝市に出かけたりしていたが、日にちが変わったり、やっていなかったりで定まらずこの頃はどうなっているのか・・・行っていないのでわからないが天候や獲れ具合によるので難しいと思う。
- ・車での販売も場所不要だから手軽ですし買う方も近くで買え重い物を持ち帰らず済むので大助かりだと思います。年老いてなるべく小分け・・・バラで買いたいので。車の運転をやめ自転車にも乗らない者の希望です。
- ・「地産地消」は地域の発展のため大賛成。直売所を増やしコンビニでも多く販売してほしい。
- ・行楽の帰り道「あっ明朝のサラダ用のトマト、買わなくては！」ということもよくある。駅近くの地産コーナーは、案外便利でうれしい存在。
- ・大手スーパーですと他県の物が出ている。市民センター前他空き地で地産物がたくさん販売されている。産地以外の物を探すのが大変なようで私共大変喜んでいる。私共の地城だと軽食も販売している。産地物を使いサラダ、ハンバーグ、

混ぜご飯などー・ほかにもいろいろ考えてくださっている。

- ・自分が歩いて行けるところで買えるようにしてほしい。長後、高倉地区。

- ・六会のわいわい市場のような場所があると買い物に行きやすい。

- ・湘南台駅と六会駅の間私は「不動前」の信号の近く。このあたりに全くスーパー、小売店、コンビニがない。家はどんどん建っているのに店がない。買い物難しい。「不動前」の近くにぜひ店を作ってほしい。老人世帯は大変。

- ・ネットを使用するのに難しかったりするため直接購入できる場所があれば楽。他県の地産地消のものを組み合わせて簡単なセット料理できるものはやはり藤沢に住んでいる以上難しいのか？

- ・要は、老人でも（車もない）身近な場所で（高品質、新鮮、無農薬（安心）等）相対的に安価で手に入り易い方策の推進が重要と考える。⇒自然と地産地消は増加する。

- ・おいしく新鮮な農水産物を食べることができる半面、値段と認知度には不足感を覚えている。値段はもう少し抑え、認知度に関しては直売所を増設するなどで広めていくことは可能か？おいしい食材を多くの人に知ってもらい、身近に感じていただくことが大切なのではないかと感じる。

- ・藤沢市で生産されている野菜果物が思いのほか多くてとてもうれしく感じる。どこの店でも購入できるようになるといいと思う。買い物の時まず地産の品を見てから優先的に買い求めている。市民にもっと知られるような取り組みを期待している。

- ・ふるさと納税の返礼品にするといい。

- ・地産地消について詳しくは知らなかった。これからは気を付けていろいろなものに関心を持っていきたいと思う。身近なところに販売所があれば尚利用できる機会が増えると思う。

- ・藤沢のお米がおいしくなっていると思う。新鮮な野菜がわいわい市場に並ぶと嬉しい。

- ・地産地消素敵な言葉。新鮮な野菜は力をもらう。野菜は本当に調理方法で変わる。これから野菜中心の食卓に心がけたい。健康中心に考えれば自然と野菜生活になっていかなければならないので、それを伝授していくこと、そして高齢化のため野菜を買いに行けない人は宅配を考えてあげること。あと冷凍も考えてほしい。

- ・高齢化に供え、定期的に地域を巡回販売してはどうか。特に湘南ライフタウン等の高齢化の地域を・・・。

- ・最寄駅の近辺に販売所を設けて欲しい。「公設マーケット」のイメージ。

- ・販売所の増設（無人等）（わいわい藤沢でしか買えない！！）。

- ・年よりだから散歩しながらかいいにいかれるように！近場にあるといいと思う。

- ・辻堂地区農協で鶴沼農協の直売所のようなものの設置は不可能か。
- ・藤沢市は魚や野菜が豊富で、とても身近に感じる。もっと、いろいろな場所で買うことができるようにしてほしい。
- ・身近に購入できる店があればと思う。
- ・しらすが好きでよく買っている。駅などで直売しているときは野菜も買っている。もっと機会が増えるとよいと思う。
- ・市役所前で販売していて買ったことがあるが、もっといろいろな場所で販売してほしい。
- ・私は生協の宅配を利用している。重い荷物等を持ってないし、車もないため。カタログ注文でも藤沢産というのはあまりない。神奈川県産のものはある。米や豚肉等いいものがある。中国産と明記されているものは避ける。藤沢のブドウやナシ等野菜等数量的に少ないから値段もない。充分ではない。ワイワイという直売所は高価でお年寄りには適さない。もっと身近に購入できる場所があるとうれしい。
- ・移動販売等で手に入れられたら便利だと思う。
- ・JA の直売所が近くにあれば優先的に野菜果物はそちらで買うと思う。「わいわい市」は近くに行く機会がないと寄れないので残念。市役所前で生産者の方が販売しているときに出会えば買えるのが、なかなかタイミングが合わない。近くのスーパーでは「地産地消コーナー」があるので私もほかの方もまずそこへ行ってから買い物をするようにしている。いろいろな場所で取り扱いが増えればよいと思う。
- ・片瀬地区は特に生活難民と思われる。週 1 回でも時間を決めて自動販売の車が来たら嬉しい。
- ・生産者が小規模であるのは当然（だからいいものができる！）として集荷販売の組織化、大規模化、いわゆる企業的効率化が早急に求められる。
- ・国道 134 号線添いに魚も野菜もお土産等扱う「道の駅」があるといい。
- ・移動販売車を地域に活用する→高齢者は買い物に苦労している。
- ・直売所を増やしてほしい。
- ・価格に勝る魅力が地産地消にあるかどうか。藤沢市のふるさと納税の返礼品に農水産物が少ない。
- ・地産地消は大いに関心が有り、期待も大いにしているが・・・購入場所が特に少ない様に思う。スーパーでは時々見受けられるが種類も少ないためとなりの鎌倉野菜があれば買ってしまふ。もっと地域のどこかで販売していただくともっと協力できると思う。（販売場所が分からない）形がおかしくスーパー等ではあつかわない様な品物も安くして販売していただくと有難い。（移動販売も期待している）

- ・野菜魚の直売所が少なすぎると思う。藤沢は魚も野菜もとてもおいしいと思うのでもう少し市も力をいれてほしい。
- ・子供が生まれてからは土地のものが良いと聞いたのでできるだけ藤沢のものを選ぶようにしているが、販売所が少ない遠いと感じたり、長蛇の列に並ぶことが出来ないことも多いので販売所や取り扱い店が増えたら嬉しい。
- ・地産地消は地域を活性化すると共に健康的な市の発展にもつながると思う。私は近くに農協の「わいわい市」があり便利ですが高齢者は行きにくい時もある。大型スーパーに藤沢産のコーナーを設けて頂くと便利と思う。（スーパー側の御理解を頂くのは大変と思いますが）友人たちは車ももう使えず行きたくても行けないとガッカリしている。
- ・JA さがみわいわい市藤沢店に（亀井野2504）ヒント有。特に日曜日の混雑、消費者をみると分かる。売り切れそうだと近所の農家から軽トラですぐ追加。生産者が店頭に出しすぐ売れていく。
- ・ワイワイ市場（亀井野町？）の様なものを私達の地域に作ってほしい。（県道30号沿い）
- ・テラモにわくわく広場を出店して欲しい。体のためにも「食育」はとても大事だと考える。日本人のうまみを感じられる、だし、みその種類、料理方法を広めて欲しい。私の職場の方は、これだけスーパーなどたくさんあるのに行く場所を固定している方が多い。買いたいと思われる、皆が（人が）集まる場所で配るや無料イベントを催してくださると物価高の中で喜ばれると思う。
- ・車による移動販売があったら一人暮らしの年寄りや体の弱い人には便利かもしれない。広報その他等で場所時間を知らせる。輸入に頼らず自給率をもっともっと増やしてほしい。
- ・道の駅のような広い直売所があるといいなと思う。あっても遠いに行かれませんし、少ないと混むので各地区に大小なりともあると便利だと思う。
- ・人が集まる所（駅等）で直売するのが一番だと思う。認知度が上がればおのずと皆さん買い求めると思う。
- ・わいわい市場が多数あると良い。果物の価格が高すぎてあまり購入できない。
- ・販売へ行く市営のバスや品物を積んだ車があると便利。
- ・販売店を増やしてもらえると嬉しい。地元の野菜などはやはり優先して選ぶと思う。鮮度もいいと思う。内陸の方にも魚の販売が増えればいいと思う。手軽に買える環境ができれば最高。
- ・わいわい市場等の直売所を増やす。
- ・買い物に行くのが大変（車に乗らなくなった）近くまで移動販売に来てくれたらありがたい。
- ・藤沢に長く住んでいると地元産というのはやはり目が行くし購入をしたいと

いう気持ちになる。そういう店が増えてくるといいと思う。

- ・自分は足が悪いのであまり遠くへは行けないので週1、月1でもいいが車で販売に来てくれたら嬉しい。

- ・身近な販売所で購入したい。

- ・善行駅前や善行市民センターでのイベント開催時に出張販売される計画あるか。

- ・直売店を増やしてほしい。車ではなく自転車・徒歩などでも行ける所に。

- ・藤沢に鵜沼海岸等に道の駅みたいな、大きくて買いやすい店があったら嬉しいが。

- ・今回アンケートに答える機会を与えられわたしにとってもよい時間となった。藤沢にも他地域に負けない美味しい農水産物がたくさんあると思うがそれらを目にして購入する場があまり（私の周りには）ない気がしている。もっと出会って買って味わいたい。

- ・藤沢産の農水産物を販売する場所が少なく増やされた方が良いと思う。特に魚貝類は場所も量も増やしてほしい。

- ・藤沢が「道の駅」等を作ったらいいと思う。

- ・神奈川百選との連携が取れていない。

- ・道の駅など直売取り扱い場所を確保しないと人は集まらない。行政としての力不足感

じられ今のままでは老人世帯ばかりが目立つ自治体になる！！”

- ・藤沢産農水産物の販売所がもっと増えるといい。安価で！

- ・直売が多くなることを希望する。

- ・以前は藤沢警察署の近くの農協によく行って野菜を買っていたのが、最近全くなくなってしまった。地産地消は地球にやさしいので、地元産のものを買いたいです。普段行っている藤沢駅南口のオーケーストアでは藤沢産の野菜などほとんど見かけない。置いてくれれば進んでそちらを買うが、なぜ農協に行かなくなったのか自分でもわかりませんが近くに直売所ができれば利用したい。

- ・藤沢市だけにこだわらず、ほかの近くの市や町のも一緒に、直売できれば周りも幸せになるのでは。

- ・私はよく直売を利用している。特に思っていることは①安い②利用したい直売所が少ない③鮮度が良い④買いたいものが少ないトウモロコシ、トマト等は極めて少ない。店頭に出してもすぐ売れてしまうためもあると思う。」

- ・キャベツの出店を多くしてほしい（毎日食べているので）。

- ・善行に住んでいるので野菜果物は直売で買うことができますが、魚介類の直売所はない。魚介類の移動販売など直売感覚で買えるシステムがあると嬉しい。

- ・自分の住んでいるところのものが手に入りやすい状況を増やしてもらいたい。

今は‘わいわい’店に行くだけだがもっと近くに簡単なお店があってすぐ買えるところが増えてほしい。

- ・地産地消の推進には直売所の増設が必要だと思う。各地域に一か所だけあったとしても、あるとないとでは大きな違いだと思う。地産地消の推進大賛成。

7 その他

- ・JA や道の駅などが近くになく、普通のスーパーなどでの購入が身近な状況だと、地産地消に関心があってもスーパーで購入するほうが楽。わざわざ藤沢産のものを購入しに出かける時間も労力も念出できない忙しい毎日を送ると地産地消が望ましいと思いつつもハードルは高いまま。

- ・スズキヤサイなど時々そういうことをやっているようで・・・とてもいいと思う。難しい問題かと思う。農業や漁業の方々を守るためにはブランド化して有名にするのも大切かと思うが、高価になって離れてしまうと逆効果。そうなる問題は国とか輸入とか果てしなく大きくなるので根本解決は大きな社会の仕組みの変革しか望めなくなるので、アンケートが役立つのか？と思ったりもする。

- ・湘南ブランドの米「はるみ」や「湘南野菜」も「地産地消」と捕えていましたので、「藤沢市限定での地産地消」と言われると「はるみ」の生産地は藤沢でか？などと戸惑ってしまった。私自身藤沢市の生産地域が十分分かっていない結果と思う。これからはもっと藤沢市の地産地消に目を向けたいと思う。

- ・生産者の方々頑張ってください。ナシやブドウがもう少し安ければいいと思うが…

- ・野菜は時折、近くの直販で利用している。

- ・私の住んでるところは坂が多く坂を下れば大型のスーパーがある。急な坂で歳だが車がなければ重いものも買えない。

- ・今後ともより関心を持っていきたいと思う。

- ・これからも地元のものを買うように心がけていきたい。

- ・「地産地消」という言葉を初めて知った。これからスーパーに行った時、気を付けてみてみようと思う。

- ・特に地産地消について、積極的ではないがせっかく藤沢市に住んでいるので海も畑もあるのでこれからは地産地消に取り組んでみたいと思う。がんばれ藤沢。

- ・自然環境の悪化(環境保護)に力を入れることが大切だと思う。特に海的环境悪化(磯焼け等)による魚種の減少が心配である。さらに異常現象による農作物への影響が懸念される。これらは全世界的な問題であるが、藤沢の河川などにもゴミが多いし、いたるところにごみが散乱している。藤沢市も含めもっと自然を大切に活動を増やすことを求めます。農業に興味がるが、真夏の活動は厳しく見える。

・野菜については、家庭菜園で楽しみながら作っているが、海産物は湘南のものが店に並んでいるのが少し少ない。時々見かけるが、少し価格が高いように思われる。もう少し身近にある魚貝類を安価で買い入れできればうれしい。梨等特にスーパーより直売所のほうが高かったように思われる。

・スーパー等で藤沢産のポップは見たことがない。地元で作っている野菜等があるが、値段が高い。

・このアンケートが役立つことを期待している。

・藤沢産の農水産物がもっと有名になって、購入できる場が増えれば市民も自然と地産地消になっていくと思う。

・条例が制定されるほど推進したいなど知らなかった。地産地消の旗などは見かけるが、今はキャッシュレス決済できないといつも現金を持ち合わせない時代なので買えない。

・地産地消を推進することになれば食品ロスなどの問題もなくなるのではないか。

・野菜果物の価格が高すぎる。

・私は普段あまり‘地産地消’を意識していなかったのですが、どのようなものが藤沢は有名なのかよくわからなかった。しかし、今回のアンケートを通じて、地産地消をすれば地元の生産者さんを知ることでもできるし、それによって地域活性化につながるなど思った。さらに、SDGの観点からしても、地産地消をすれば結果地球にやさしく、人もうれしくできるのでは？と感じた。これからは私も地産地消を意識して、スーパーやお店の商品を見ていきたい。

・地産地消を推したい。

・物価が上がっているので優しい値段だとありがたい。

・このアンケートを機会に藤沢の地産地消についてのことをもっと詳しく知りたいと思う。

・藤沢という名前が大好き。江の島・海・大仏様・全く泳げないけど藤沢と聞くと足がもぞもぞしてきます。必ず鳩サブレ買って帰る。

・シャインマスカットを値下げしてほしい。

・ふじキュン好きですけどプーさんには負けるかな。

・夏場の葉物野菜は傷みやすいのでスーパーの予冷品を購入するようにしている。日持ちがするようになっていけば地場物を選択する余地があるかも。

・私は腰が痛いヘルパーさんに週2回お使いをしてもらっているのですが、(スーパーで) こだわらず並べてあるものを買ってきてもらう。

・特に農家は不動産業になっていて信頼できない。又、固定資産税逃れなのか生産しても廃棄しているように見える。きちんと監視するべきと思う。

・ブドウ「藤みのり」は藤沢発と聞いているが、ブランド化して全体的に値段が

高くなって藤沢で消費するメリットはなくなっている。「地産地消」＝安価で新鮮であることを望んでいる。

- ・「地産地消」を応援したいのですが物価高騰の為、どうしても値段が優先してしまう。これからもっと「地産地消」を考え、買い物をするようにしたい。

- ・キズ物、はんぱ物も積極的に販売。

- ・年金生活のため考えながらサイフの中味と相談して安いものやたらとかうことが出来ないのだ、少しがまん・・・。

- ・わいわい市に行った事がありますが、大型スーパーより価格が高く感じた。価格が同等であればもっと利用する人が増えると思う。

- ・だんだん地産品が高くなって来ている。肥料や人件費が高くなっているからしょうがないが。

- ・地域の活性化になるなら応援する。

- ・住んでいる御所見地区は、畑が多くあり出来るだけ近所の野菜、果物を買う。野菜果物は豊富だが、片瀬漁港までは、なかなか行かれない。農協の野菜直売の時、魚介類なども買うことが出来ると嬉しい。

- ・応援している。

- ・こういうアンケートに選ばれることがとても多いが今回のは一番楽しくいろいろ考えることができた。

- ・鵜沼海岸ローゼンにあるプチトマトを食べてから、あまりのおいしさに‘地産地消’を意識するようになった。

- ・このアンケートの目的が明記されていないのでアンケート自体意味不明。この調査は定期的実施されているのか不明。定期的実施されているのならその結果をどこの、だれが、どう反映され、どう藤沢市民に報告されているのか不明。有効な調査になることを期待している。

- ・農産物は善行、六会のほうが多いと思う。海側は魚は買いやすい。

- ・生シラスとかをブームで提供するため、浜野水産、堀川網が海底を網で引いているせいか、シロギスの産卵も荒れて投げ釣りで釣れない。シラスが観光に寄与しているかもしれないが、乱獲による生態系への影響が大きい。網の底引きはやめてもらいたい。

- ・私は家庭菜園を40年程行っている。「地産地消」が何故地域で消費しなければならないのかをグローバルにPR必要かな？盛り上げていく理由は？

- ・22年間群馬県に住んでいた関係でいまだに八百屋さん等に産地の品の表示があると買ってしまう。又藤沢には64年住んでいる関係でやはり地産地消を心がけての買い物をしている。

- ・生活の中で、藤沢産や神奈川県産の野菜や肉、魚を意識して買って食べている。商品として出せないB級品のものをもっと（JA以外でも）出してほしい。形

が悪くても、大事に育った野菜は買いたい。

- ・①当局（経済部）からもっともっと「押し出し」が必要。アンケート実施のような待ち型、様子見ではなく「これをやる、あれをやる」を自らが押し出していかなければならない。

- ・時代は流通が国内のみならず海外にも広く拡大されているので、地産地消を育てるには、相当な努力が必要。

- ・コストに関係してくる加細性もあるかもしれない。

- ・消費者は毎日の生活に欠かせない食料を求めるので、地産、他所のものであれ質が高く安価なものを求める。

- ・11月初めの神奈川新聞で厚木基地から有害物が川に流れているという恐ろしい記事を見た。行政として土地の‘よごれ’など十分に検査してほしい。

- ・近くに直売所があれば大いに利用したいが残念なならない。前に一軒国道側にあったが、新鮮だからと言って、かなり高い品々が多く、手が出なかった。その後いつの間にか消えてしまった。やはり料金面にも配慮が必要だと思う。地産地消は町の活性化のためにも大いに必要。

- ・徒歩で遠くまで出かけできない。

- ・アンケートをまとめてデータ化し地産地消に役立ててほしい。

- ・直売所へは‘いつものあれ’を求めに行くのが多い。夏は夏野菜のトマト、キュウリ、トウモロコシ、枝豆秋はカボチャ、イモ 冬に大根、葉物 春にキャベツ、イモ等々季節の変わり目に行くと、もうないとかまだ早いなどの理由で手に入らず、結局スーパー行けば確実かなと思ってしまう。季節ごとの‘いつものあれ’が必ず手に入る期間を決めると足を運びやすくなる。魚介に関しては工場や人口の多さから不安で買えない。又同じ地域の天然物を長期大量摂取は怖いかもと感じてしまう。

- ・藤沢に60年余り住み、この地を愛しているが、高齢のため地産の物を買いたいと思うが手近かに手に入らない、買い物に出歩くのが大変で地産消費に協力したいが、残念。

- ・価格が安ければ皆買うと思う。とにかくふじキュンが可愛い。

- ・アンケート対象に選ばれたことで今よりもっと藤沢市の食べ物を選びたいと思う。

- ・毎週OKストアで買い出しするが藤沢産はあまり見かけない。JA さがみには多少あるようですが、値段が高いので買わない。年金暮らしの年寄りには値段が一番重要。

- ・直売所が近くにあるわけではないので、応援したい気持ちはあるが、スーパーで全国の野菜と比較すると価格が一般家庭むきではないので、あまり買えない。

- ・普及に努めて頑張る。

- 高齢になって動くことが面倒になってきている地産地消の中に「エネルギー」を入れないか。
- 2,3回購入したが、特に地産地消が売値が高い。
- 地産地消の品物を購入する際に車がないとなかなか行けない。
- 地産をもっと充実するための藤沢市独自の取り組みを行い、藤沢ルールでできることを推進することで生産物の多様化を図る。市民が何を欲しいかを話し合えるようにする。
- うちの息子は障がい者作業所に G.H.より通所しており、そこではギョーザ(ふじキュンギョーザ)を製造販売もしている。販売について行政側からもう一押しして頂けると有り難いのかなと思う。
- 良いことだが他地域のものに比べて安価であるとは言えず逆に高価の感がある。身近なところで他地域のものより安価で新鮮な供給ができればといいと思う。町内農家出店の野菜、果実は利用している。
- 近くに直売所がないのでスーパーで少しあるだけ。トマトかキュウリくらいしか買えない。シラスは俣野水産に行く。
- 昭和 44 年に結婚してから、住んで50年も過ぎた。息子家族5人長女1名共に藤沢に住んでいて、ありがたいことは近くの農家さんが家のところに直売所、農協駐車場、市場などで売っていていつも新鮮な品々旬のものが食べられる贅沢な生活をして元気な高齢者となっている。車であちこちの直売所を回っている。果物は遠藤の梨・藤みのりブドウ毎年大事な方々へも送って喜ばれている。又、しらすなど毎年楽しみにいたして丼などにして食べている。益々工夫されていかれるように。6/26 東京に行きました。折り「きゅうりの漬物50本ほどお土産にしましたら「おいしい」と大変喜ばれた。朝取りの曲がりのきゅうり1袋に7本も入って、100円です。近くの農家のご主人のご労にいつも感謝しながら食べたり、ほかの方に差し上げて喜ばれている。
- 広域避難場所の駐車場等を利用して月1~2回の青空市場を開くのは如何？避難場所の周知と地域交流にもなると思う。
- 藤沢市内では JA さがみ経営わいわい市場が地産地消を主に扱っている。スーパー等はほとんどない。わいわいが主体ではないか。たとえば神奈川県産はるみ米ほとんどわいわい市場で販売されている状態だ。消費者は‘地産地消’は JA さがみ直営わいわい市場と一般消費者は思っていると思う。農協直売も同じだ。
- 今は身体があまり動かず荷物も持てないため利用していない。
- 単身世帯なので少量多種で購入できるといいのだが。
- 湘南しらすが大好きですが最近是不漁続きで食べられなくてとても残念。
- 安い価格でおいしい物を！
- 「地産地消」や「ゴミ問題」はくらしが豊かで便利になるにつれて、大きくな

ってきている。昔のくらしに不便さはありますが、少しずつ戻っていく方が、私たちや、将来の藤沢、神奈川、日本の人達には絶対がいいと思う。社会をより良いように変えて行ってほしい。

- なるべく協力したいと思っている。

- 当地区にはスーパーがなく、自家用車のある人は他地区のスーパーに行けますが、年寄りや单身の方はコンビニやドラックストア等の好意(?)で、野菜、冷凍食品等々を購入している状態。また農家の庭先等で無人で野菜を売っていた、地区農家(JA 関係)週2回販売しているのを利用している。

- 地産のものをこれからも食することができるよう関心を深めていきたい。

- 生産者さんと消費者が共にウィンウィンであるように協力していきたい。

- 価格が全般的に高く感じる。

- 公共の空き地など市民に貸して作物を作らせて自分で食べても OK、安価で地域、JA が買い取るシステムができれば参加者がでて PR や口コミで広がるのでは。

- これからも積極的に藤沢産の生産物を購入しようと思った。

- 藤沢市のような都市型市町村で地産地消を推進する必要はないと考えている。国産で安くておいしい食材であれば藤沢産にこだわる必要は全くないと思う。

- 意識するようになりそうです。

- スーパー等での販売では包装がいらなと思える(野菜類等)ものも多いと感じている。無人販売所のように新聞紙などで自分で包んで購入する形式で十分。売り方にもゴミ削減の工夫をしてほしい。

- これからも農水産物を購入するときは積極的に藤沢産のものを選びたいと思う。

- 地産地消必要なことと思う。

- 地産地のものより少しでも安く。(1円でも2円でも)

- 片瀬地区には大きなスーパーがない。マンションばかりあってできると良いと思う。

- 地産地消(農水産)は理想だと思うが、現実はそう甘くない。その理由は多様な理由(原因)があり(海山畑)は様々な用件が山積みされている。最近よく聞く環境汚染と地球温暖化、地球規模で考え解決するニードがある。例えば北海道の夕張メロンがどうして日本1位約1個50万円くらい以上という価格素晴らしいではないかその訳は閉山夕張炭坑の土壌に有る何百年も前の「つち」を何百メートルも奥深くから石炭と共に零り出しその(つち)で栽培したからに他ならないと考える。

- ①農業試験場②水産試験場(養殖)湘南ビーチラインへ地域住民(小委員会)の創意を結集し大胆におし進めること。

- 農地真改良（山どろ⇔畑どろ）を入替交換すること。
- 藤沢市役所分庁舎で売っている野菜のコーナーはビルの中に入っていかなくてはいけないのでなかなか入りづらいです。
- 地域振興に大いに役立てたいこととフードロスを意識した取り組みに期待したい。
- 地元で農業、畜産業、水産業、食品加工に従事されている方々に敬意を表する。これを機に地産地消を意識して協力していきたいと思う。
- 地産地消の地域循環が発展して地域の活性化に繋がるのであるならこれ程良いことはない。ぜひその方向で市政を推進して頂ければと思う。
- 「地産地消」は色々な面で賛成だが、もう一歩先を考えると販売所に行くことのみならず、鵜沼老人にとっては悲しい限り。なんとか利用できる方法を考えていただけないものか。
- 地産地消が当たり前になれば良いと思う。
- あまり気にしたことはなかったが、このアンケートを機に藤沢産のものを探してみようと思った。